

学力向上アクションプラン(宇佐市)

目標及び指標

【目標】

- 1 全国学力学習状況調査・大分県学力定着状況調査において、すべての教科で全国平均正答率・偏差値50を超える。
- 2 校長のリーダーシップと教務主任、研究主任、主幹教諭、指導教諭及び教科主任による学力向上・授業改善の取組の徹底。

達成指標

- 全国調査A問題の平均正答率
標準化得点
小 102 中 101
- 全国調査B問題の平均正答率
標準化得点
小 102 中 101
- 大分県学力定着状況調査偏差値
小中ともに全ての教科で50を超える。

取組指標

- 習熟度別指導実施状況
算数・数学・英語 全指導時間の90%以上
- つけたい力を意識した「まとめ」とそれに対応する「絞り込んだ課題」の徹底。
- 教務主任会を2回以上開催し、具体的な改善の手立てやツールを活用した授業の充実を図る。
- 校内研究会・互見授業・管理職による授業観察において、チェックシートをもとに検証・改善を行う学校…90%以上
- 生徒による授業評価をすべての教科で行う中学校…90%以上
- 家庭学習の内容について共通理解し、改善に取り組む学校…100%
- 「ノーマディアデー」等の家庭との連携による生活習慣の見直しに取り組む学校…100%

- 「授業改善が進んだ」と答える教員
…90%
- 「授業改善が進んだ」と答える管理
…60%

- 校内研究会・互見授業・管理職による授業観察において、チェックシートをもとに検証・改善を行う学校…90%以上
- 生徒による授業評価をすべての教科で行う中学校…90%以上

- 家庭学習1時間以上(平日)
小6…70%以上
中3…80%以上
- テレビ視聴時間2時間以上(平日)
小6…50%以下
中3…50%以下

- 家庭学習の内容について共通理解し、改善に取り組む学校…100%
- 「ノーマディアデー」等の家庭との連携による生活習慣の見直しに取り組む学校…100%

行動計画

①「中学校学力向上対策3つの提言」の実施に関して

- (1) 習熟の程度に応じた指導の充実
 - ・ より具体的な評価規準による確かな見取りと手立ての工夫
 - ・ 習熟度別指導推進教員の公開授業による授業モデルの提起
- (2) 互見授業
 - ・ 管理職・教務主任(研究主任・教科主任)等による日常的な互見授業の計画と実施(互見週間の設定)
 - ・ 授業チェックシートによる視点の明確化
 - ・ 対象生徒の絞り込みによる授業評価
- (3) 近隣合同教科部会のさらなる充実
 - ・ 合同教科部会(3ブロック)における内容の深化(共通テスト、教材作成から分析と対策を)
 - ・ 合同教科部会の月行事への位置づけ
- (4) タテ持ち
 - ・ 教科教員複数名の中学校におけるタテ持ちの実施
 - ・ 教科主任のリーダーシップによる教科部会の計画的な開催・指導体制の確立と情報共有
 - ・ 教科部会の日課表への位置づけ
- (5) 生徒による授業評価、授業像の共有
 - ・ 評価項目・回数等の見直し
 - ・ 授業評価の全体への共有と活用
- (6) 所属感を感じ、安心して学べる学校・学級集団にするための取組
 - ・ 生徒会活動の充実

②小学校の授業改善の取組について

- (1) 英語教科化 3・4年外国語活動に向けて
 - ・ 平成30年度先行実施モデル校(5校)を指定。
 - ・ 小学校外国語部会を中心にH30先行実施およびH32教科化、3・4年外国語活動に向けて研究協議
- (2) 新大分スタンダードに基づく授業改善のさらなる充実
 - ・ つけたい力を意識した「まとめ」とそれに対応する「絞り込んだ課題」の徹底。
 - ・ つけたい力を明確にした各教科等における言語活動の充実
 - ・ 管理職、教務主任等による授業観察及び互見授業におけるチェックシートの活用
 - ・ 「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」を創造するための学習集団づくり
- (3) 習熟の程度に応じた指導の充実
 - ・ 習熟度別授業のさらなる充実
 - ・ 個に応じた補充学習の時間の確保・充実
 - ・ 「具体的な評価規準」の設定による児童の見取りと手立ての工夫

③家庭・地域と連携した学力向上の取組について

- (1) 年間8回の土曜授業開催
- (2) 土曜授業等における地域人材(含高校生)を活用した授業の工夫
- (3) 中高ジョイント授業による学ぶ意欲の向上
- (4) 放課後チャレンジ教室の実施(社会教育課)